

あゆのつかみ取りに大歓声

7月31日、田浦町の野上橋下の勝浦川河川敷で、市内小学生を対象とした「あゆのつかみ取り大会」(勝浦川漁業協同組合主催)が開催され、約400名の親子連れでにぎわいました。

大会は、河川敷の一角を網で約10メートル四方に区切った浅瀬に、体長20センチ前後のあゆ1,300匹を放流して行われました。



勝浦川であゆを捕まえる子どもたち

つかみ取りに挑戦した135名の子どもたちは、夢中になってあゆを追いかけ、勢いよく飛びついたり、手づかみで捕まえたりして、大きな歓声を上げていました。

会場ではこのほか、あゆの塩焼きコーナーや小松島ライオンズクラブによるかき氷の無料配布なども行われ、子どもたちは川や魚など小松島の豊かな自然に触れながら、夏休みを満喫していました。



あゆの塩焼きにかじりつく子どもたち



ステージではダンスなどが披露されました

みやま園夏祭り 地域の交流深まる

第17回みやま園夏祭り(社会福祉法人小松島市手をつなぐ育成会主催)が7月31日、ふれあいセンター立江で開催されました。

会場では、ダンスやバンド演奏などが披露されたほか、折り紙やシャボン玉の体験コーナー、輪投げやヨーヨーすくいなど多彩な催し物があり、訪れた大勢の家族連れや地域住民らは交流を楽しみました。

和田島渚の夏祭り 地引き網を体験

和田島海岸で8月7日、和田島渚の夏祭り(ボランティア和田島なぎさ会主催)が開催され、家族連れら約300名が地引き網体験やスイカ割り、バーベキューなど様々なイベントに参加しました。

地引き網体験では、子どもたちが力を合わせ、沖に

仕掛けられた網を引っ張り手繰り寄せると、タコやエソ、タイ、キスゴ、イワシなどたくさんの魚が入っていて、歓声が沸き起こりました。

そのほかにも、和田島特産のワカメとチリメンを使ったすまし汁の無料配布なども行われ、子どもたちは浜辺で遊ぶ休日を楽しんでいました。



力いっぱい、地引き網を引く子どもたち



スイカ割りに挑戦する子ども